燕のものづくりを知る

見て、触れて、体感して



おすすめスポット・イベント

- ■産業史料館(燕市大曲 4330-1)
- ■燕三条 工場の祭典

燕市で農家の副業から始まった和釘づくりの技術は、金属洋食器を はじめ、さまざまな製品を生み出す技術へと進化し、世界に誇る「も のづくりのまち・燕」を形成しました。燕市には、昔ながらの技術と 最先端の技術が融合・共存し、ものづくりの幅を広げることで競争力 を高めてきた歴史があります。こうした歴史や魅力を市内外の人に 知ってもらうことは、市民のまちに対する誇りや愛着を育み、「ものづ くりってかっこいい」「携わってみたい」と思う人を増やし、未来へと つなげていく大切なきっかけとなります。実際に燕のものづくりを"見 て、触れて、体感できる"場である、産業史料館や10月2日(水)~ 5日(日)に開催される『燕三条 工場の祭典』に訪問し、このまちが育 んできたものづくりを、ぜひ現地で体感してください。



■開館時間

9:00~16:30 (体験受付は閉館の30分前まで)

■休館日

月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始

■入館料

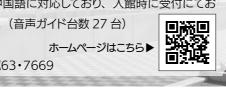
大人 400 円、小・中学生、高校生 100 円 団体(10人以上)/大人300円、小・中学生、高校生80円 年間パ は - ト / 大人 2,000 円、小・中学生、高校生 500 円

■音声ガイド

館内(企画展を除く)の音声ガイドを無料貸出しております。 日本語、英語、中国語に対応しており、入館時に受付にてお 申し込みください。(音声ガイド台数 27 台)

■問合せ

☎ 63 • 7666 / FAX63 • 7669







としていますして広めてい

くことも目標 そのために、

ます。

してだけ

でなく、

、「文化」と「喫煙具」と

また、

煙管を

しながら、

し、ウェブ記事や歴史や文化的背

考古学で学

景を整理し、

e動画と

った

世代の若者 白く挑戦できるのです。そし 変化に合わせて形を変えなが を「守る人」というより 岩浪さんは自分自身を、 ら生き続けるもの。 たものではなく、 の感性でつなぐ その姿勢が、 もっと自由に、 その歴史の流れの中で、 0年続く燕のものづく 伝統とは固定され 人」だと考え 時代ごとの だからこ もっと面 今

限らず海外からの反応もあり

の発信を続けており、

国内に

まざまなきっかけを生んで

そこから販売につな

してきた岩

玉川堂との出会い

SNSはさ

現在もSNSでオ

えて

をさらに広げて 多様な技術を学び、 鍛金技術をはじめとする燕の 岩浪さんは今後の展開とし 品づくりに挑戦するため グロ 世界に通用する新 きた

います。 ルな視点も意識 uたいと考 表現の幅

SNSから世

伝統は自由

白